

市町村名	石垣市							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1－①	観光誘客プロモーション事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－（2）－イ			
担当部課名	企画部観光文化スポーツ局 観光文化課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開			
事業内容	観光需要の安定化を図るため、県外の主要都市などターゲットとなる対象に出向き石垣島観光の魅力を対面プロモーションで紹介するほか、メディア媒体等を活用したPRや誘客イベントを開催する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,783	5,492	21,440	19,670	26,710	
		(b) 予算現額	7,583	5,492	17,740	19,670	25,701	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 2,200	0	▲ 3,700	0	▲ 1,009	
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—	
		A. 計 (b+d)	7,583	5,492	17,740	19,670	25,701	
	B. 執行済額		6,562	4,910	16,779	19,105	24,096	
	うち交付金充当額		4,523	3,927	13,318	15,284	19,276	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率（％）(B/A)		86.5%	89.4%	94.6%	97.1%	93.8%	
	予算の状況の説明		減額は、フィルムオフィス業務委託やスペシャルライター業務委託等の精算によるものである。 不用額は、事業計画の見直しにより発地PR事業の実施を一部取りやめたことによるものである。					
活動目標（指標）及び達成状況	H29活動目標（指標）		達成状況					
				28年度	29年度	30年度	31年度	
	ダイビング誘客PR業務	目 標	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ ）	（ ）		
		実 績	実施	実施				
	観光誘客PR業務	目 標	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ ）	（ ）		
		実 績	実施	実施				
	達成状況説明	・マリンダイビングフェア2017に出展し、パンフレットやカレンダーの配布、抽選会などでダイビングリゾート石垣をPRした。 ・メディア媒体を活用した観光情報の発信、観光関連団体への活動支援、国内外ターゲット地域でのイベントの実施や観光イベントへの出展、観光PR用映像コンテンツの制作などを実施した。						
	成果目標（指標）及び進捗状況	H29成果目標（指標）			基準値（ 年度）	28年度	29年度	30年度
入域観光客数前年度比△10%～10%維持		目 標	（ ）	（ 10%増 ）	（ 10%増 ）	（ ）	（ ）	
		実 績		12%増	7%増			
誘客イベント等の実施		目 標	（ ）	（ 3件 ）	（ 3件 ）	（ ）	（ ）	
		実 績		5件	5件			
【H30成果目標】 ①イベントブースへの平均来場者数：1,700人 ②映画撮影ロケ地誘致件数：1件 ③視聴可能ネットワーク数：95局 ④アンケートにおける来島希望者の割合80%以上 ⑤応援ツアー来島人数86名以上		目 標					①1,700人 ②1件 ③95局 ④80%以上 ⑤86名以上	
進捗状況説明		・台風の襲来も少なく天候に恵まれたこともあり、7月、8月ピーク時の伸びが前年比約24%の増となった。クルーズ船の就航回数も増えており、海路の観光入域客数も前年比38.9%増となっている。 ・毎年実施しているイベントに加え、市制施行70周年記念事業のイベントが開催された。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・台風の襲来も比較的少なく、夏季ピーク時の観光入域客数が特に伸びたことが目標を達成できた要因である。 ・市制施行70周年となったため、記念イベントを開催したことが目標を達成できた要因である。	・受入の良さがリピーターに繋がり、また口コミにより新たな誘客に繋がることから、受入基盤の強化とPR事業のバランスの取れた施策の展開を図る。 ・受入キャパシティの問題など、量から質への転換も考慮に入れた誘客PRを図る。
今後の取り組み方針		
定期便の就航地を含め、本市とゆかりのある地域などターゲットを絞り、イベントや物産展以外にも趣向を凝らした様々な手法を取り入れたPRを展開していく。また、認知度向上のためのPRツールの作成や情報拡散方法の研究、ハード、ソフト両面での受入基盤強化が、口コミによる更なる誘客に繋がる観点から、受入とPRのバランスの取れた施策を展開していく。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）				
石垣市 24,096千円 旅費 993千円 （ 県外1人×2件 国外1人×1件、4人×1件 ） 委託料 23,087千円 事務費 16千円 （ 報償費、通信運搬費、手数料 ） 有限会社石垣コミュニティーエフエム 4,990千円 （ PR広報番組制作委託 ） 八重山ダイビング協会 972千円 （ ダイビング誘客業務委託 ） 千葉ロッテマリーンズ 1,620千円 （ 石垣肉キャンペーン告知 ） 一般社団法人石垣市観光交流協会 4,729千円 1,154千円 1,907千円 （ 石垣市スペシャルナイター業務委託 フィルムオフィス 発地プロモーション ） 八重山ビジターズビューロー 460千円 （ 八重山観光感謝のつどいにおける石垣島PR ） 石垣市特産品振興協同組合 118千円 （ 石垣肉発送業務 ） 星空ツーリズム株式会社 2,138千円 （ ダークスカイパーク認定申請業務 ） 一般社団法人石垣島クリエイティブフラッグ 4,999千円 （ 海外向けプロモーション映像制作委託業務 ）				
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○随意契約であるが、業務内容に応じて選定された事業者であり適切である。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業計画の見直しによるものであり、予算規模は適切であったと考えている。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途は事業目的に即し、必要最小限及び効果的に執行している。	

市町村名	石垣市						
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1－②	スポーツ！ウェルカム！石垣島！事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－2－（1）－イ		
担当部課名	企画部観光文化スポーツ局 スポーツ交流課	事業実施 （予定）年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成 Ⅲ－1－（1）	
事業内容	スポーツツーリズムを推進し離島振興につなげるため、島内のスポーツイベント等の活性化及び国際大会、プロスポーツキャンプ、体育系教育機関の合宿等の誘致を目的に営業活動を実施する。また、受入環境整備及び受入・歓迎態勢強化のため、選手等への快適な環境づくりと、歓迎装飾やキャンプとタイアップしたイベント等の賑わい創出により地域活性化へつなげる。						
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）						
実施方法	■直接実施 ■委託 ■補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			26年度	27年度	28年度	28年度（繰越）	29年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	4,189	16,015	23,454	－	21,418
		(b) 予算現額	3,865	16,015	50,454	－	21,418
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 324	0	27,000	－	0
		(d) 繰越額	－	－	－	35,252	－
		A. 計 (b+d)	3,865	16,015	50,454	35,252	21,418
	B. 執行済額		3,171	12,907	15,202	23,278	13,075
	うち交付金充当額		2,537	10,325	12,161	18,621	10,459
	次年度繰越額		0	0	35,252	－	0
	執行率（％）(B/A)		82.0%	80.6%	30.1%	66.0%	61.0%
予算の状況の説明		不用額は、2月のプロ野球キャンプに係る委託料が当初想定を下回ったこと等によるものである。					
活動目標 （指標） 及び達成状況	H29活動目標（指標）		達成状況				
				26年度	27年度	28年度	29年度
	スポーツツーリズムの推進	目 標	()	()	()	(実施)	
		実 績				実施	
	スポーツキャンプ、合宿、大会等の誘致活動	目 標	()	()	()	(実施)	
		実 績				実施	
	受入環境整備及び受入体制強化	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実 績	実施	実施	実施	実施	
	達成 状況 説明	・新たにグラウンドゴルフやJIチームのキャンプを誘致したことなどにより、スポーツツーリズムの推進が図られた。 ・関東地区1カ所、東北1カ所、海外3カ所において、各種スポーツ団体へ誘致活動及びスポーツイベントのPR活動を行った					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・J1の横浜F・マリノスのキャンプ誘致に成功し、新たな観光客誘致を行うことができた。 ・警備員の配置については、天候やスケジュール変更などにより急な対応を求められることがある。 ・プロ野球キャンプ期間中の来場者数は毎年増加傾向にある。 ・鷺ぬ鳥グラウンドゴルフ全国大会を開催し、高齢者層に石垣島の魅力を伝える機会を創出できた。	・スポーツキャンプ・合宿誘致業務に関しては、安定した誘致成功を収めているため、引き続き誘致に取り組む。 ・警備員の配置については、早めのスケジュール確認や業者との調整が必要である。 ・プロ野球キャンプ期間中の来場者をさらに増やすため、キャンプ期間イベントの早期リリースに取り組む。 ・新規イベントは、石垣島の魅力を多方面に周知できることから、引き続き開催に取り組む。
今後の取り組み方針		
・プロスポーツ等の継続誘致及び新規誘致に向けて、引き続き誘致活動に重点的に取り組む。 ・業者と早めに調整を行い、選手及びファンにとって快適なキャンプとなるよう取り組む。 ・キャンプ期間中のイベント情報の早期発信に取り組み来場者の増加を図る。 ・新規イベントの多方面への周知を強化し、より効果的な誘客に取り組む。		

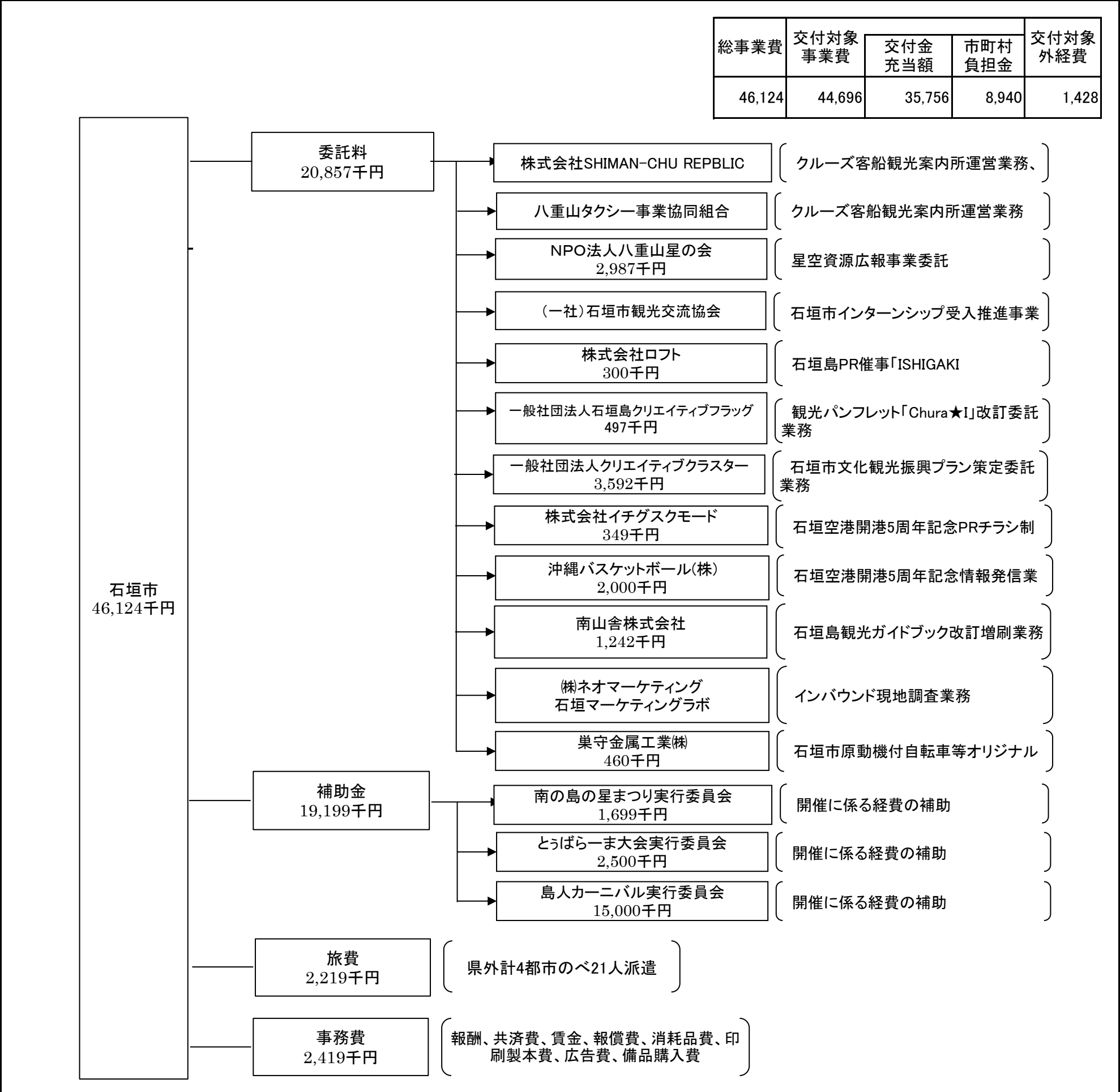
資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）																		
<table><tr><th colspan="2"></th><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td colspan="2"></td><td>13,075</td><td>13,075</td><td>10,459</td><td>2,616</td><td>0</td></tr></table> 石垣市 13,075千円 旅費 1,484千円 事務費 933千円 使用料及び賃借料 604千円 委託料 9,369千円 補助金 685千円 関東1件、東北1件、台湾2件、香港1件、県内11件 報償費、需要費、役務費 町田機工(株) 461千円 石垣鋼材(株) 142千円 石垣島クリエイティブフラッグ 498千円 ウィズ中道次郎 71千円 東洋グリーン(株) 1,944千円 8823堂 米盛 愛 291千円 (株)米盛建設工業 324千円 八重山ビル管理(株) 1,390千円 (有)海邦ビル管理 1,597千円 (有)八拳警備保障 1,798千円 (株)エイト・マネジメント 1,453千円 鷺ぬ鳥グラウンド・ゴルフ全国大会実行委員会 685千円 プレハブ賃借 足場賃借 PR映像素材作成業務委託 WEBサイト更新変更業務委託 寒地型芝生整備委託業務 製作物デザイン委託業務 仮設ブルベン防護ネット運営・撤去業務委託 警備誘導案内業務委託① 警備誘導案内業務委託② 警備誘導案内業務委託③ 総合案内所及び賑わい創出事業委託 旅費等							総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費			13,075	13,075	10,459	2,616	0
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費												
		13,075	13,075	10,459	2,616	0												
資金使途の流れ、点検・評価目・	評価	点 検 項 目		評価に関する説明														
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○支出先の選定方法については、本業務の性質及び市業者の現状から実績があり、より安価な業者との随意契約であり、妥当であった。														
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○予算規模について、事業内容に見合った規模となっており適正である。														
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		○補助対象は、旅費や宿泊費の一部に限定														

市町村名	石垣市						
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1－③	観光地受入基盤強化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ			
担当部課名	企画部観光文化スポーツ局 観光文化課 総務部 税務課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の強化		
事業内容	観光地としての満足度を向上させリピーター層を増やすために、満足度の向上や観光ブランドの構築等に取り組む。また、本市にゆかりのあるデザインの原付バイク等の「ご当地ナンバープレート」を交付する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）						
実施方法	■直接実施 ■委託 ■補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	30,396	63,840	34,279	33,627	50,732
		(b) 予算現額	77,973	77,731	34,279	46,749	50,557
		(c) 増減額 (b-a)	47,577	13,891	0	13,122	▲ 175
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計 (b+d)	77,973	77,731	34,279	46,749	50,557
	B. 執行済額		75,699	76,861	33,261	42,747	44,696
	うち交付金充当額		60,559	61,488	25,366	34,197	35,756
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率（％）(B/A)		97.1%	98.9%	97%	91.4%	88.4%
予算の状況の説明		減額は、ナンバープレート制作業務委託の精算によるものである。 不用額は、当初予定していた観光プラットホーム会議の業務委託を計画見直しにより今年度は実施しなかったことなどによるものである。					
活動目標（指標）及び達成状況	H28活動目標（指標）		達成状況				
				28年度	29年度	30年度	31年度
	文化観光コンテンツ推進業務	目 標	(実施)	(実施)	()	()	
		実 績	実施	実施			
	石垣市観光プラットホーム会議の推進	目 標	(実施)	(実施)	()	()	
		実 績	未実施	未実施			
	星空資源広報業務	目 標	(実施)	(実施)	()	()	
		実 績	実施	実施			
	南の島の星まつり、とうばら一ま大会、文化観光イベント補助（各1回）	目 標	(実施)	(実施)	()	()	
		実 績	実施	実施			
ご当地ナンバープレートの金型製作	目 標	()	(実施)	()	()		
	実 績		実施				
達成状況説明							

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・観光客の利用者が増え、地元民が利用しにくい状況となっている。 ・観光事業者に、いかに会議に参加することの有益性、意義を持たせることができるかが課題である。 ・ライトダウンイベントが形骸化してきており、繁華街の事業者の協力が得られていない状況である。 ・ご当地ナンバープレートは、当初の予定通り、市制施行70周年にあたる7月に交付を開始することができた。	・星空資源を観光コンテンツとしていくにあたり、市民の理解・協力を得られる仕組みづくりを行う。 ・観光関連団体や事業者等との意見交換や今後の観光施策の展開に繋げるため、観光プラットフォーム会議については年度前半の早い時期での開催を行う。 ・ライトダウンイベントについては、星空は観光資源であることを周知し、事業者への協力を要請していく。 ・金型製作の業務委託を早期に行ったことが、予定通りの交付開始に繋がった。
今後の取り組み方針		
・星空資源広報業務については、星空資源の保全と活用の一環として事業を実施し、市民の理解・協力を得られる仕組みづくりに取り組む。 ・観光プラットフォーム会議については、観光アドバイザーのスケジュールを早めに確保し、本市の観光の現状把握、今後の方向性について明示する。 ・南の島の星まつりでのライトダウンイベントにおいて、特に市街地、繁華街の事業者に対する協力依頼を継続して行う。 ・ご当地ナンバープレートについては、交付希望者が増えるように広報活動に取り組む。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法は、本業務の性質を考慮し、業務実施がある業者への随意契約であり、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○観光プラットフォーム会議が日程調整がつかず未開催となったが、その他の事業に関しては概ね予定通り実施しており、予算規模は適正であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金は交付要綱に沿って補助を行っており、妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要な	

市町村名	石垣市							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1－④	南ぬ島空港観光案内所運営事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－(ウ)				
				観光客受入体制の整備				
担当部課名	企画部観光文化スポーツ局観光文化課	事業実施 (予定)年度	平成25～30年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－(1)			
事業内容	本市の玄関口となる新石垣空港ターミナル内において、国内外からの旅行者を対象にした観光案内サービスを実施する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,600	9,100	9,100	9,100	9,100	9,100
		(b) 予算現額	6,600	9,100	9,100	9,100	9,100	8,600
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0	▲ 500
		(d) 繰越額	－	－	－	－	－	－
		A. 計 (b+d)	6,600	9,100	9,100	9,100	9,100	8,600
	B. 執行済額		4,579	7,644	7,515	8,257	6,320	
	うち交付金充当額		3,663	6,115	6,012	6,606	5,056	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)		69.4%	84.0%	82.6%	90.7%	73.5%	
予算の状況の説明		減額及び不用額は、観光案内所の人材確保が当初計画通りにいかなかったことによるものである、。						
活動目標（指標）及び達成状況	H29活動目標（指標）		達成状況					
			29年度	30年度	31年度	32年度		
	観光案内人の配置 3名	目 標	(3名)	()	()	()		
		実 績	3名					
達成状況説明	・南ぬ島石垣空港内案内カウンターにおいて、外国語に対応できるスタッフ3名を配置して観光案内を実施した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H29成果目標（指標）			基準値 (年度)	28年度	29年度	30年度	目標値 (30年度)
	観光瓦版的情報紙の発行	目 標	()	()	(4回)	()	()	
		実 績				0回		
	研修会参加実施	目 標	()	(参加)	(参加)	()	()	
		実 績			参加	参加		
	案内対応件数(50,000件)	目 標		()	(50,000件			

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・観光客増加により観光案内以外の業務ができてない状況である。 ・増加する観光客の多様なニーズに対応する必要がある。 ・個人旅行の増加によって交通系の問い合わせが増えトラブルが発生している。	・自走化を図るため情報紙発行等の運営費確保の取組について検討を行う。 ・研修目的を明確化し、島外研修だけではなく、講師を招いた研修の実施についても検討を行う。 ・外国人観光客の増加に伴い、市内観光従事者のミスのフォロー（レンタカーの貸出しのトラブル等）が増えているため対策に取り組む。
今後の取組み方針		
・自走化に向けた運営費確保の取組を受託者と検討し取り組む。 ・観光客は増加してる状況であるが、スタッフの研修を強化することで資質を向上し、様々な問い合わせや要望に応えられるよう、案内業務の充実を図る。 ・関係団体（受託者、レンタカー会社）とミスのフォローによるトラブルの解決策を検討する。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>6,320</td><td>6,320</td><td>5,056</td><td>1,264</td><td>0</td></tr></table> 石垣市 6,320千円 委託料 一般社団法人石垣観光交流協会 6,320千円 案内書運営に係る業務委託料					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,320	6,320	5,056	1,264	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,320	6,320	5,056	1,264	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価 ・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本市の観光振興を推進する会員組織である石垣市観光交流協会と地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に基づき委託契約を締結しており、妥当と考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算に関しては、必要最低限の支出となるように事業途中に受託者と確認しており、妥当である。											
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途に関しては、事業途中や事業完了の際に受託者と協議・確認し、適正であると考えている。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	石垣市							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑤	石垣島ミュージックフェスティバル事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－イ			
担当部課名	企画部観光文化スポーツ局 観光文化課	事業実施 (予定)年度	平成25～30年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開		
事業内容	観光閑散期の底上げを目指した、新規個人客層の誘客及びリピーターファン獲得のため、音楽を魅力にして石垣島らしさをアピールする音楽イベントを開催する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	20,000		35,000	3,000	30,593	
		(b) 予算現額	20,000		38,700	10,300	31,125	
		(c) 増減額(b-a)	0		3,700	7,300	532	
		(d) 繰越額	－		－	－	－	
		A. 計(b+d)	20,000		38,700	10,300	31,125	
	B. 執行済額		19,585		38503	9,999	30,962	
	うち交付金充当額		15,668		30802	7,999	24,769	
	次年度繰越額		0		0	0	0	
	執行率(％)(B/A)		97.9%		99%	97.1%	99.5%	
予算の状況の説明		増額は、来場者の満足度向上を目的とした出演者の充実等によるものである。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H28活動目標(指標)		達成状況					
				28年度	29年度	30年度	31年度	
	将来的な民間移管を視野に次回開催に向けての検証	目 標	()	(実施)	()	()		
		実 績		実施				
	次回開催の内容、広報、ツアー商品の造成実施	目 標	(実施)	(実施)	()	()		
		実 績	実施	未実施				
達成状況説明	・石垣市内の事業者らを中心としたイベント設計や運営、管理などを行い、今後の石垣市内での大型イベントにも対応可能な運営体制を構築することができた。 ○次回開催の検討については、予算面での課題があることから未実施となった。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H27成果目標(指標)			基準値 (年度)	28年度	29年度	30年度	目標値 (年度)
	イベントフェイスブックの「いいね数」	目 標	()	(3,000件)	(3,000件)	()	()	
		実 績		1,300件	1,620件			
	イベントオフィシャルツアーの造成	目 標	(					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・イベントの実施において、開催日の決定に加えてメインコンテンツとなるイベントへの出演者の決定が成功のカギを握っているが、出演者が所属する音楽事務所のスケジュールの取り決めなど、課題が残されている状態である。 ・3連休という好条件であったが、別の大型スポーツ大会と重なり、飛行機や宿の手配など石垣市内の空港やホテルなど観光インフラ施設が確保できず、イベントにツアーで参加したい方が多数いたが受け入れることが出来なかった。 ・石垣市制施行70周年という節目の年という事で多数のイベントや行事が続いていたことや、11月下旬の天候不順等により、集客数が伸び悩んでしまった。	・開催日をなるべく早めに決定することで、その後の内容の充実度を高めることが出来ることから、実行委員会の早期開催を図る。 ・離島であるがゆえに観光インフラ施設の確保は必須であることから、他のイベントやスポーツ大会の日程も考慮して、開催日を決定する。 ・他のイベントとの開催バランスや悪天候等の運営ノウハウを備え主体的にイベント開催に取り組む地元事業者の育成を図る。
今後の取り組み方針		
・実行委員会を早期に行い開催日を確定させ、観光客が計画的に訪れることができるよう取り組む。 ・効果的な集客ができるよう他のイベントの日程を確認して早期に開催日を決定しPR活動に取り組む。 ・これまでの開催にあたり協力した事業者などとの連携を模索し、石垣島ならではの野外イベントの実施を行う。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>30,962</td><td>30,962</td><td>24,769</td><td>6,193</td><td>0</td></tr></table> 石垣市 30,962千円 補助金 30,710千円 旅費 31千円 賃金 221千円 TsunDAMI野外フェス実行委員会 （開催に係る経費の補助） （事務調整（県内1人）） （運営スタッフ賃金）					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	30,962	30,962	24,769	6,193	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
30,962	30,962	24,769	6,193	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金交付要綱を定め、実行委員会を選定して行っており妥当である。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正である。 ○補助金は交付要綱に沿って補助を行っており、妥当である。 ○費目・使途は事業目的に即し、必要最小限及び効果的に執行している。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	石垣市							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1－⑥	石垣市内文化財環境整備事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－1－(6)－(ア)				
				沖縄らしい風景づくり				
担当部課名	教育部　文化財課	事業実施 （予定）年度	平成27～33年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－(1)			
事業内容	石垣市内の指定文化財及び指定地隣接地の環境を整備するため、私有地を買い上げる。また、資料作成のため、レーザー測量及び全景空撮を実施する。このほか、文化財指定地に生育する、樹勢の衰えにより腐朽が進み幹や枝が落下する可能性がある樹木について、樹木医の診断及び処方箋に基づく保護措置を行い、見学者や観光客の安全を確保する。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度（　年度）							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（　）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	10,324	5,650	14,505			
		(b) 予算現額	10,324	5,650	14,505			
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0			
		(d) 繰越額	—	—	—			
		A. 計 (b+d)	10,324	5,650	14,505			
	B. 執行済額		7,290	2,820	13,660			
	うち交付金充当額		5,832	2,255	10,928			
	次年度繰越額		0	0	0			
	執行率（％）(B/A)		70.6%	49.9%	94.2%			
	予算の状況の説明		不用額は、委託の入札残によるものである。					
	活動目標 （指標） 及び達成状況	H29活動目標（指標）		達成状況				
			29年度	30年度	31年度	32年度		
用地取得の実施		目　標	(　2筆　)	(　　　　　)	(　　　　　)	(　　　　　)		
		実　績	2筆					
レーザー測量の実施		目　標	(　2地点　)	(　　　　　)	(　　　　　)	(　　　　　)		
		実　績	2地点					
三番アコウの診断及び保護措置の実施		目　標	(　実施　)	(　　　　　)	(　　　　　)	(　　　　　)		
		実　績	実施					
達成 状況 説明		・黒石川窯跡指定地及び旧和宇慶家墓の隣接地は、私有地の買い上げを実施した。黒石川窯跡指定地については、境界標を設置した。 ・旧和宇慶家墓及び元海底電線陸揚室は、レーザー測量及び図化を実施した。 ・仲道の三番アコウは、樹木医の診断及び処方箋に基づく保護措置（土壌改良及び危険枝除去）を実施した。						
成果目標 （指標） 及び進捗状況		H29成果目標（指標）			基準値 （　年度）	29年度	30年度	31年度

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・前年度に不動産鑑定評価を終えていたことや、所有者の文化財に対する理解が深くスムーズに交渉が進んだことが、目標値達成につながった。 ・測量対象範囲について事前踏査や遺構細部の観察を行ったことで、業務委託を効率良く進めることができ、目標値達成につながった。 ・近隣住民の情報提供や、適宜行っている巡視活動や樹勢の観察により、危険な幹や枝による被害が出る前に除去することができた。	・用地取得の計画段階から課題を洗い出しながら作業を進め、目標を達成することができた。 ・旧和宇慶家墓では、委託業務発注後に明確に確認された遺構も一部あり、追加調査が必要な状況となっている。 ・仲道の三番アコウは、交通の要所であるうえ通学路にもなっていることから、樹勢や危険な幹枝の発現に今後も留意していく。
今後の取り組み方針		
文化財の環境整備を進めることにより、沖縄・八重山らしい景観の維持や、後世への文化財の継承等の効果も期待され、観光にも活かせるものと考えられる。本事業では、内容の異なる複数の活動目標を立て、複数年にわたって事業を計画しているところであるが、文化財を取りまく環境変化に対応するため、実施する事業内容は年度毎に優先順位を見直し、より必要性の高いものから取り組んでいきたい。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）				
		総事業費	交付対象事業費	交付対象外経費
		13,660	13,660	0
石垣市 13,660千円	公有財産購入費 4,912千円	個人 3,600千円	文化財指定地 1筆の用地購入	
		Jショップ「てとて」 1千円	収入印紙代	
		個人 1,310千円	文化財指定地隣接地 1筆の用地購入	
		Jショップ「てとて」 1千円	収入印紙代 （土地売買契約書に貼付）	
	委託料 8,748千円	株式会社パスコ沖縄支店 6,696千円	石垣市内文化財（2ヵ所）の	
		有限会社西里測量設計 464千円	購入地（北側部分）の座標確認 及び杭打ち委託	
		有限会社西里測量設計 454千円	購入地（南側部分）の座標確認	
		株式会社崎浜測機システム 54千円	石垣市内文化財（2ヵ所）の	
		株式会社トピカル・グリーン設計 886千円	仲道の三番アコウ樹木医診断及	
		おもと造園 194千円	仲道の三番アコウ危険枝除去	
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。		・委託業務のうちレーザー測量委託は、一般競争入札を行い業者を選定した。他の委託業務は随意契約を締結しているが、複数の業者から見積書を徴取し総合的に判断した結果や、業務の特殊性などの理由により選定したもので、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		・不用額は入札残によるものであり、適正な規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		・費用、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	石垣市							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1－⑦	八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－1－（4）－ア			
担当部課名	教育部 博物館	事業実施 （予定）年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる 環境づくり		
事業内容	博物館資料の保存・活用等を図るため、博物館所蔵資料のうち、虫食い等により状態の良くない古文書等の修復を行う。							
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	27,105	14,860	17,970	16,994	12,000	
		(b) 予算現額	17,086	14,860	17,970	16,994	12,000	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 10,019	0	0	0	0	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計 (b+d)	17,086	14,860	17,970	16,994	12,000	
	B. 執行済額		17,064	11,423	17,882	16,955	11,960	
	うち交付金充当額		13,651	9,138	14,306	13,564	9,567	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率（％）(B/A)		99.9%	76.9%	99.5%	99.8%	99.7%	
予算の状況の説明		資料の修復及び修復済み資料のデジタル化を計画通り実施した。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	H29活動目標（指標）		達成状況					
				26年度	27年度	28年度	29年度	
	所蔵資料21件の修復及び21件のデジタル化	目 標	(19件)	(33件)	(23件)	(21件 21件)		
		実 績	27件	33件	23件	16件 16件		
達成 状況 説明	新聞資料の1冊あたりの綴り枚数の問題から修復件数は減ったが、修復及びデジタル化の枚数(点数)は、概ね計画通り実施できた。							
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H29成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	29年度	30年度	31年度	目標値 （30年度）
	所蔵資料21件の修復及び22件のデジタル化の完了	目 標	()	(21件 22件)	()	()	()	
		実 績			16件 16件			
	【H30成果目標】 平成30年度の入館者数9,500人以上	目 標						9,500人以上
	進捗 状況 説明	年度ごとに修復等を実施しているが、						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	修復済み資料、デジタル化済み資料の蓄積は進んできているので、部分的に公開を図るなど、活用面についても検討する必要がある。	現在は、修復等を中心に事業実施しているが、活用を考えて収蔵場所の確保や閲覧を可能にする状況の整備なども合わせて行う。
今後の取り組み方針		
八重山博物館所蔵資料の修復は、年次的な計画を作成し、劣化が進み保存状態の良くない資料を優先的に実施している。 しかし、修復済み資料の保管場所及び活用のための環境整備ができていない部分があるため、今後は、収蔵棚や収蔵筆筒等の整備もあわせて検討していく。 デジタル化についても、これを推進することで、現物が閲覧できないような貴重資料についても展示や調査、研究等に活用してもらえるため、継続して事業を実施する。 今後は、デジタル資料の部分公開などについても研究し、貴重な資料に負荷を与えないようにしながら活用に取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>11,960</td><td>11,960</td><td>9,567</td><td>2,393</td><td>0</td></tr></table> 石垣市 11,960千円 委託料 11,928千円 紙修復保存工房 10,746千円 (新聞資料修復に係る委託料) 紙修復保存工房 595千円 (古文書修復に係る委託料) 石川堂 587千円 (画稿修復に係る委託料) 事務費 32千円 (旅費)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	11,960	11,960	9,567	2,393	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
11,960	11,960	9,567	2,393	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○委託業務は随意契約で行ったが、専門性の高い業務であり、関係法令に照らし合わせても妥当な執行である。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正である。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		○費目・使途については、事業の目的に沿うものであるもので適正であった。										
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	石垣市							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1－⑨	闘牛場改修事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－ア			
担当部課名	企画部観光文化スポーツ局 観光文化課	事業実施(予定)年度	平成29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり			
事業内容	Ⅲ－1－(1)							
事業内容	八重山の伝統文化である「闘牛」の発展を図るため、老朽化した闘牛場の改修支援を行う。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(年度)							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額【単位：千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	20,000					
		(b) 予算現額	20,000					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 繰越額	－					
		A. 計 (b+d)	20,000					
	B. 執行済額		20,000					
	うち交付金充当額		9,191					
	次年度繰越額		0					
	執行率 (%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		当初計画どおりに執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況					
				29年度	30年度	31年度	32年度	
	闘牛場改修工事費用の一部補助		目 標	(実施)	()	()	()	
			実 績	実施				
達成状況説明	老朽化した闘牛場の改修事業に係る費用を一部補助し、擁壁、防護柵、トイレ、客席などの改修が行われた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)			基準値(年度)	29年度	30年度	31年度	目標値(30年度)
	闘牛場改修工事の完了		目 標	()	(完了)	()	()	()
			実 績		完了			
	【H30成果目標】闘牛大会開催の増		目 標					6回
	進捗状況説明	計画通り、闘牛場の改修工事が平成30年3月20日に完了した。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	県立病院やホテルなどの建築ラッシュに伴い、人手不足や、工事費の高騰など懸念されたが、天候にも恵まれ、予定通りに年度内の工事完了となった。	闘牛の魅力を様々な媒体を通じて広く発信し、誘客に繋げる事が重要である。 観光交流協会や商工会などとの連携強化が安定的な闘牛大会の開催に繋がる。
今後の取り組み方針		
闘牛の魅力を広く発信し観光コンテンツとして確立する。また、改修した闘牛場を闘牛大会のみならず、様々なイベントの会場として利用頻度を上げる。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）													
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>20,000</td><td>20,000</td><td>9,191</td><td>10,809</td><td>0</td></tr></table> 石垣市 20,000千円 補助金 20,000千円 八重山闘牛組合 20,000千円 闘牛場改修補助金 （工事費）				総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	20,000	20,000	9,191	10,809	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費									
20,000	20,000	9,191	10,809	0									
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金交付対象を交付要綱にて定めおり、妥当である。 ○不用額は発生しておらず、適正な規模であった。 ○補助は工事費の一部に限定されており、妥当である。 ○費目・使途については、闘牛場改修の工事に限定されており、適正である。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。											

市町村名	石垣市							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-②	石垣市中央運動公園リニューアル事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ				
担当部課名	建設部 都市建設課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成			
事業内容	石垣市における運動施設の中核を担う石垣市中央運動公園において、八重山圏域唯一の運動公園としての存在価値を高めるために公園全体のリニューアル整備を行う。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☐ 後年度(年度)							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	27年度(繰越)	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,500	—	20,272	100,400		
		(b) 予算現額	7,500	—	20,272	79,997		
		(c) 増減額(b-a)	0	—	0	▲ 20,403		
		(d) 繰越額	—	7,500	—	—		
		A. 計(b+d)	7,500	7,500	20,272	79,997		
	B. 執行済額		0	7,020	18,061	73,925		
	うち交付金充当額		0	5,616	14,448	58,510		
	次年度繰越額		7,500	—	0	0		
	執行率(%) (B/A)		0.0%	93.6%	89.1%	92.4%		
予算の状況の説明		不用額及び減額は入札残によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況					
				29年度	30年度	31年度	32年度	
	陸上競技場トラックの改修		目 標	(実施)	()	()	()	
			実 績	実施				
達成状況説明	八重山圏域唯一の公認陸上競技場として第3種公認取得のために必要なトラック改修工事を行った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)			基準値(年度)	29年度	30年度	31年度	目標値(年度)
			目 標	()	(完了)	()	()	()
	陸上競技場トラックの改修完了		実 績		完了			
	進捗状況説明	八重山圏域唯一の公認陸上競技場として第3種公認取得のために必要なトラック改修工事が完了した。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	第3種公認陸上競技場の有効期間が平成30年9月30日をもって終了する関係で、利用頻度が多い夏場にトラック改修工事を実施する結果となった。トラック改修工事期間中（平成29年6月1日～平成29年9月12日）は、陸上競技場の利用ができなかったため、利用者にご不便をかける結果になった。	事業実施に際しては、計画的に余裕をもった事業期間の設定に努める。
今後の取り組み方針		
市民の利便性向上、東京オリンピックへ向けた合宿の受け入れやプロ・アマチュアのキャンプ誘致に向けた態勢強化のため、八重山圏域唯一の運動公園としての存在価値を高めることを目的に公園全体のリニューアル整備を推進する。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>73,925</td><td>73,138</td><td>58,510</td><td>14,628</td><td>787</td></tr></table> 石垣市 73,138千円 委託料 1,890千円 → 有限会社八島企画 1,890千円 〔石垣市陸上競技場トラック改修設計業務〕 工事請負費 68,569千円 → 有限会社洲鎌組 68,569千円 〔石垣市陸上競技場トラック改修工事〕 備品購入費 2,478千円 → スポーツショップアスリート 2,478千円 〔石垣市中央運動公園陸上競技場備品購入〕 （交付対象外経費）787千円 → 公益財団法人日本陸上競技連盟 200千円 〔石垣市中央運動公園陸上競技場第三種公認申請手数料〕					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	73,925	73,138	58,510	14,628	787
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
73,925	73,138	58,510	14,628	787										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○支出先の選定方法は、委託・工事・備品事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は入札残によるものであり、予算は適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途については、事業の目的に沿うものであるので適正であった。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	石垣市							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2－③	歩行者ならびに自転車空間ネットワーク整備計画策定事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－(ウ)			
					観光客の受入体制の整備			
担当部課名	建設部　都市建設課	事業実施 (予定)年度	平成29年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－(1)			
事業内容	歩行者ならびに自転車空間ネットワーク整備計画書の作成を行う。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(　年度)							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他(　　)							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース)			29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	7,009					
		(b) 予算現額	7,009					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 繰越額	0					
		A. 計 (b+d)	7,009					
	B. 執行済額		4,957					
	うち交付金充当額		3,965					
	次年度繰越額		－					
	執行率(%) (B/A)		70.7%					
予算の状況の説明		不用額は、入札残によるものである。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況					
				29年度	30年度	31年度	32年度	
	整備計画策定		目 標	(実施)	()	()	()	
			実 績	実施				
達成状況説明	整備計画策定業務の委託を行った。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H29成果目標(指標)			基準値 (年度)	29年度	30年度	31年度	目標値 (30年度)
			目 標	()	(完了)	()	()	()
	整備計画策定完了		実 績		完了			
	【H30成果目標】 本事業の整備計画に基づき各種施策を実施する。		目 標					各種施策の展開
	進捗状況説明	整備計画の策定が完了した。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	新空港開港により生じた交通環境の変化に対応するために沖縄県が作成した「石垣島のみちづくり基本計画」との整合性や、美崎町を中心とした中心市街地でのまち歩きの視点を踏まえて策定することが求められた。	各ネットワーク整備後の利活用の視点が今後求められる。
今後の取り組み方針		
「歩行者ならびに自転車空間ネットワーク整備計画書」を関係部署と共有し、計画内容の実現に努める。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>4,957</td><td>4,957</td><td>3,965</td><td>992</td><td>0</td></tr></table> 石垣市 4,957千円 委託料 4,957千円 （株）中央建設コンサルタント 4,957千円 歩行者ならびに自転車空間ネットワーク整備計画策定業務委託					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	4,957	4,957	3,965	992	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
4,957	4,957	3,965	992	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者の選定は競争入札方式で行い、適切な選定方法であった。 ○予算規模については、不要額が入札の残のみとなったことから妥当であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	石垣市							
平成 2 9 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-⑧	クルーズ船寄港誘致支援事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ				
				観光客の受入体制の整備				
担当部課名	建設部 港湾課	事業実施 (予定)年度	平成24～30年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)			
事業内容	大型クルーズ船寄港誘致のため、石垣港に寄港するクルーズ船の接岸の際に利用するトイレや屋根付きの導線を整備し、市内へ移動する乗船客を亜熱帯地方特有の強烈な日射と急な雨天から守ることで、快適で利便性の高い寄港地としてアピールする。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(年度)							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	6,000	6,000			8,000	
		(b) 予算現額	6,000	6,000			8,000	
		(c) 増減額 (b-a)	0	0			0	
		(d) 繰越額	—	—			0	
		A. 計 (b+d)	6,000	6,000			8,000	
	B. 執行済額		2,100	4,600			6,093	
	うち交付金充当額		1,680	3,680			4,874	
	次年度繰越額		0	0			0	
	執行率 (%) (B/A)		35.0%	76.7%			76.2%	
予算の状況の説明		執行残は入札残によるものである。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況					
				29年度	30年度	31年度	32年度	
	屋根付き歩道の実施設計	目 標	(実施)	()	()	()		
		実 績	実施					
	トイレの実施設計	目 標	(実施)	()	()	()		
		実 績	実施					
	達成 状況 説明	屋根付き歩道及びトイレの実施設計業務委託を実施した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H29成果目標(指標)			基準値 (年度)	29年度	30年度	31年度	目標値 (32年度)
	屋根付き歩道の実施設計	目 標	()	(完了)	()	()	()	
		実 績		完了				
	トイレの実施設計の実施設計	目 標	()	(完了)	()	()	()	
		実 績		完了				
	【H32成果目標】 利便性が確保されたか(80%以上)を含 め、当該事業のあり方をアンケートで検証		目 標					80%以上
	進							

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	平成30年4月より、クルーズ船専用岸壁の暫定供用が開始しており、早急な整備が求められている。	クルーズ船客の行動が制限されないように工事を行う。
今後の取り組み方針		
今後は、トイレ施設及び屋根付き歩道の工事を行う予定であるが、3,000名近くのクルーズ船客が乗降する中での工事を実施することとなるため、関係機関との調整を密に行い、クルーズ船旅客受入強化を図る。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>6,092</td><td>6,092</td><td>4,874</td><td>1,218</td><td>0</td></tr></table> 石垣市 6,092千円 委託料 6,092千円 (有)大島設計事務所 3,231千円 (有)池城設計 2,861千円 トイレ設計業務 屋根付き歩道設計業務					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,092	6,092	4,874	1,218	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,092	6,092	4,874	1,218	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○指名競争入札で選定しており、妥当である。 ○不用額は入札残であり、妥当である。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	石垣市							
平成２９年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-⑩	平久保半島エコロード整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ア		
担当部課名	建設部　都市建設課	事業実施（予定）年度	平成25～30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立		
事業内容	平久保半島の自然をスポーツツーリズムの資源として活用するため、用地購入等を行い、エコロードを整備する。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度（　年度）							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（　）							
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			27年度	28年度	28年度（繰越）	29年度	30年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,362	12,690	－	4,000		
		(b) 予算現額	7,362	12,690	－	651		
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	－	▲ 3,349		
		(d) 繰越額	－	－	6,011	－		
		A. 計 (b+d)	7,020	12,690	6,011	651		
	B. 執行済額		7,020	6,679	6,011	651		
	うち交付金充当額		5,889	5,343	4,809	520		
	次年度繰越額		0	6,011	－	0		
	執行率（％）(B/A)		100.0%	53%	100%	100.0%		
予算の状況の説明		減額は、取得用地の範囲を見直したことによるものである。						
活動目標（指標）及び達成状況	H29活動目標（指標）		達成状況					
				29年度	30年度	31年度	32年度	
	用地取得、物件補償	目　標	（　　実施　　）	（　　　　　）	（　　　　　）	（　　　　　）		
		実　績	実施					
達成状況説明	鑑定評価を行い、地権者に対して取得費用や補償額算出根拠の説明などを行った。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H29成果目標（指標）			基準値（　年度）	29年度	30年度	31年度	目標値（32年度）
	地権者からの用地購入および補償契約の締結	目　標	（　　　　　）	（　締結　）	（　　　　　）	（　　　　　）	（　　　　　）	
		実　績		締結				
	【H32成果目標】エコロードを活用して行われる「石垣島オーシャンビュートレイルラン＆ウォーク大会」への参加者数810人		目　標					参加者数810人
	進捗状況説明	工事実施に向けて、道路用地の取得及び補償契約を行った。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	一部『西表石垣国立公園（第三種特別地域）』内で工事を行うため、貴重な動植物が無いか等、環境省との調整が必要となり、取得までに時間を要した。	道路整備工事に早期に着手するため、環境省への工事着手届け等を早期に行う。
今後の取り組み方針		
早期に道路整備を行い、工事完了後には各メディアを通した周知やトレイルラン等のスポーツツーリズムにより広く利活用を進めていく。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>651</td><td>651</td><td>520</td><td>131</td><td>0</td></tr></table> 石垣市 651千円 公有財産購入費 531千円 補償、補填及び賠償金 120千円 地権者 A氏 651千円 土地売買契約 残地補償契約					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	651	651	520	131	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
651	651	520	131	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○用地所有者との契約であるため、妥当である。 ○減額は、取得用地を見直したことによるものであり、適正であった。 ○費目・使途については、事業目的に即し真に必要なものに限定されており、妥当である。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

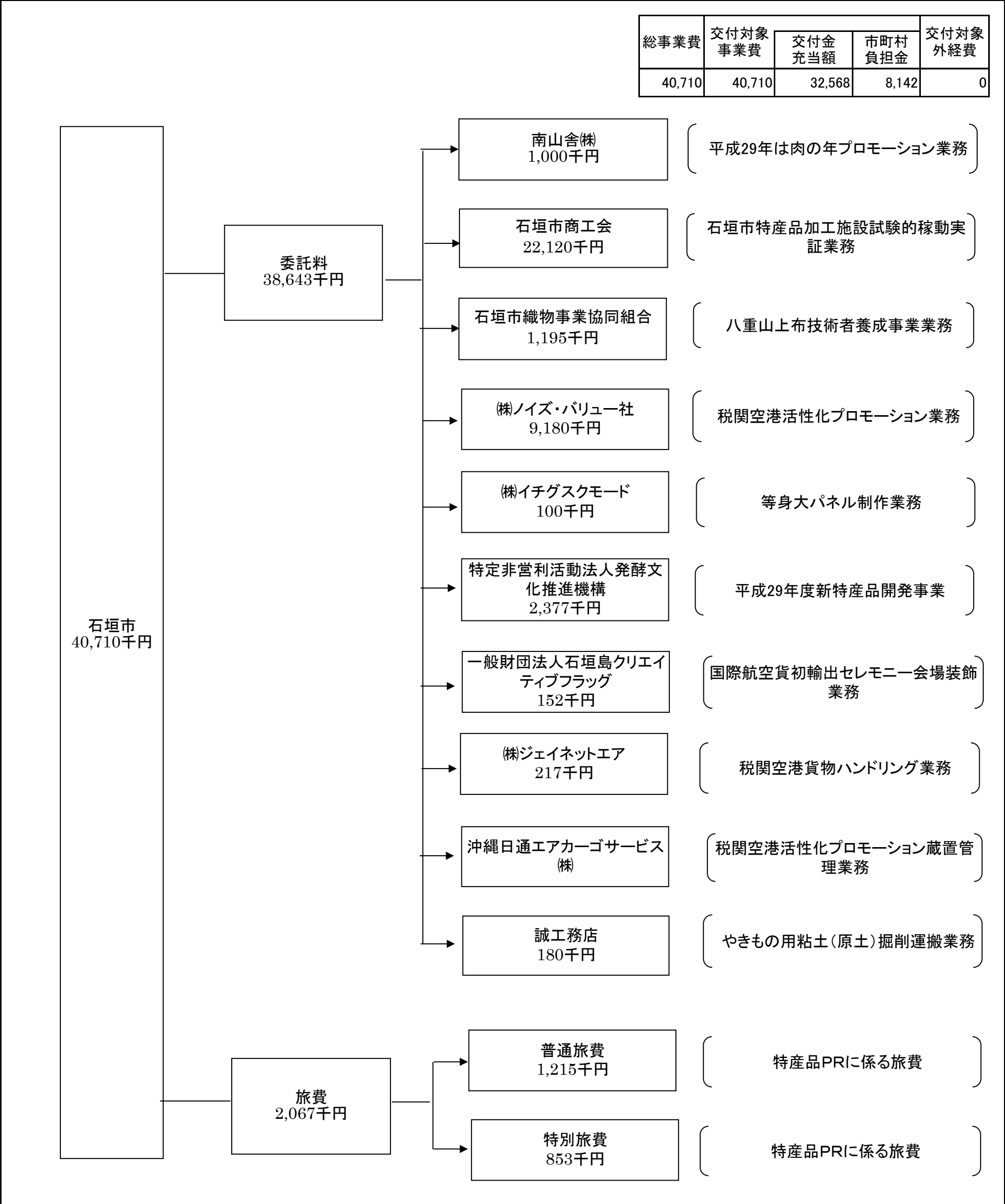
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	バイオマス活用推進計画を基に、島嶼型循環社会を目指し、環境への負荷低減を図るため、メタン発酵施設を設置する予定であるが、全国的に北海道以外の一部の地域でしか液肥利用システムが確立していないため、実証実験を行い将来、実機に向けた経済性や持続性を確保した島嶼型循環システム構築の検討を行った。	テストプラントを使い、引き続き実証実験を行い本市にあった実機プラントの導入検討を行う。
今後の取り組み方針		
家庭系の生ごみ分別収集を行うとともに本格的なプラントの最適な規模を確定するため、入口となる原料の供給量から出口となる液肥の散布可能量までを対象に調査を行い、引き続き昨年度までの調査を継続して栽培実験を行うとともに、し尿や生ごみの原料供給側のニーズ及び排出量、そして液肥利用側のニーズと利用量のコスト計算を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
石垣市 38,631千円 旅費費 755千円 委託費 37,876千円 普通旅費 631千円 費用弁償費 124千円 (一財)沖縄県環境科学センター 6,804千円 水質管理サービス(有) 3,808千円 (一社)地域環境資源センター 1,890千円 (株)建設技術研究所・(一財)沖縄県環境科学センター コンソーシアム 25,374千円 バイオマス事業に係る情報収集 (福岡・静岡・名護) 費用弁償費(熊本:1人、福岡:1人) 平成29年度メタン発酵テストプラント における発酵液等の成分分析委託業 石垣市メタン発酵テストプラント運転管 理委託業務 メタン発酵テストプラントに関する監理 委託業務 小型実証プラントを活用した資源循環 利用システムの実践的検討業務					
		総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	
		38,631	38,631	30,905	
				市町村 負担金	
				7,726	
				交付対象 外経費	
				0	
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点 検 項 目		評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○随意契約については、事業内容が専門知識を有し、かつ技術者の確保が必要なものであるため妥当であったと考えている。また、実践的検討業務についてはプロポーザル方式で公募を実施し妥当であったと考えている。 ○予算規模は、適正な規模であったと考えている。 ○費目等について事業達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認した結果適正であった。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。			
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。			
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			

成果目標 (指標) 及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値 (年度)	29年度	28年度	29年度	目標値 (年度)
	特産品の海外販売数目標	目 標	()	(500キロ)	()	()	()
		実 績					
	石垣島産パインアップル加工品等の取引 引き売上額	目 標			()	()	()
		実 績			5,029千円		
	発酵技術を活用したマーケティングPRによる 販売開拓数	目 標	()	(2件)	()	()	()
		実 績					
	伝統工芸品「八重山上布」人材育成講習の 修了生の継続した技術等の提供数	目 標			()	()	()
		実 績			6名		
	進 捗 状 況 説 明	・特産品の海外販売数は、当初目標の2倍以上と大きく上回ることができた。 ・石垣島産パインアップルの取引引き売上額は、生産者等への周知不足により目標達成に至らなかった。 ・発酵技術を活用した販路開拓は、東京日本橋と水道橋の催事で2件を達成できた。 ・八重山上布の人材育成講習後の継続した技術の提供数は、6名となった。					

取組 の 検 証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・特産品の海外販売数は、本市と香港を結ぶ航空路線が安定的に就航したこと、輸出に必要な貨物の暫定的な蔵置場所を確保できたことにより目標を達成できた。 ・石垣島産パインアップルの取引引き売上額は、営業活動の不足等により目標値を下回る状況となった。 ・発酵商品の販路マーケティングは、全国的に発酵商品が注目されていることもあり、新たな販路先を開拓することができた。 ・八重山上布講習の修了生の継続については、安定的な収入源となる職業として浸透することが求められる。	・特産品の海外販売については、対象となる香港での石垣島産のブランディングに取り組むとともに、蔵置場所の安定的な確保を図る。 ・石垣島産パインアップルの加工施設の売上額は、民間ノウハウによる営業活動の強化を図ることにより伸ばすことができると考える。 ・発酵商品のマーケティングにおいては、消費者意見を取り入れた商品の改良、パッケージの見直しなどの検討を行う。 ・八重山上布の後継者育成においては、織物組合の生産性を高めることを図りながら、伝統工芸品としての価値を時代ニーズに併せてPRを行っていく。
今後の取り組み方針		
・特産品の海外販売において課題とされる、本市産品の認知度向上、保税蔵置場の整備に向けた取り組みを行っていく。 ・パインアップル加工施設については、石垣市商工会と連携して民間移行を行い、民間ノウハウを活用して取引引き拡大を進める。 ・発酵商品のマーケティングについては、製造事業者との意見交換を重ね、消費者向けの情報発信、販促催事などに取り組む。 ・八重山上布の後継者育成については、生産性、販路開拓そして原材料の確保にかかる状況を整理しながら、伝統工芸品振興の方策に取り組む。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○特産品加工施設等は「随意契約」を行ったが、前年度からの事業の継続性などを考慮した結果であり、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、適正な規模であったと考えている。 ○事業内容に即した支出負担行為並びに支出調書が適正に整備されており、妥当な支出であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市							
平成 2 9 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4－⑤	川平子育て支援施設整備促進事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－2－(2)－イ				
担当部課名	福祉部 児童家庭課	事業実施 (予定)年度	平成29～31年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	地域における子育て支援の充実			
事業内容	川平保育所とわかば幼稚園を併合し、石垣島西部の子育て支援の拠点としての施設整備をするにあたり、基本構想、基本計画を策定する。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☐ 後年度(年度)							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	6,709					
		(b) 予算現額	6,426					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 283					
		(d) 繰越額	－					
		A. 計 (b+d)	6,426					
	B. 執行済額		6,426					
	うち交付金充当額		5,140					
	次年度繰越額		0					
	執行率 (%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		減額は、入札残によるものである。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況					
				29年度	30年度	31年度	32年度	
	基本構想・基本計画の策定		目 標	(策 定)	()	()	()	
			実 績	策 定				
達成 状 況 説 明	石垣島西部の子育て支援の拠点としての施設整備に係る、基本構想、基本計画を策定業務委託を行った。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H29成果目標(指標)			基準値 (年度)	29年度	30年度	31年度	目標値 (年度)
	基本構想・基本計画の策定完了		目 標	()	(完 了)	()	()	()
			実 績		完了			
	進 捗 状 況 説 明	石垣島西部の子育て支援の拠点としての施設整備に係る、基本構想、基本計画を策定が完了した。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	子育て支援施設については、整備予定の地域をはじめ、保護者等へ支援の内容について十分な説明が必要である。	当該施設に係る具体的な設計等について、地域及び保護者への説明を丁寧に行うことで合意形成を図り、ニーズに寄り添った施設整備を目指す。
今後の取り組み方針		
本事業で策定した基本構想・基本計画に則り、施設整備に向けて実施設計等を推進する。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象事業費</td><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td><td>交付対象外経費</td></tr><tr><td>6,426</td><td>6,426</td><td>5,140</td><td>1,286</td><td>0</td></tr></table> 石垣市 6,426千円 委託料 6,426千円 株式会社 国建 6,426千円 〔基本構想・基本計画作成委託〕					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,426	6,426	5,140	1,286	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,426	6,426	5,140	1,286	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	昨年度、一昨年度を上回る輸送量となったが、冬場の時化等による影響を受け、目標値を若干下回る結果となった。	時化の影響による漁獲量の増減はやむを得ないが、漁獲量に応じた島外への生鮮水産物出荷を促進するため、引き続き支援等に取り組む。
今後の取り組み方針		
引き続き、生鮮水産物の生産量の増加に向け、石垣市から沖縄本島へ出荷する生鮮水産物が陸路なみの輸送費となるように支援を行い、早期の漁業者の経営安定化及び漁業所得向上の実現に取り組む。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）													
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>1,273</td><td>1,273</td><td>1,018</td><td>255</td><td>0</td></tr></table> 石垣市 1,273千円 補助金 1,273千円 八重山漁業協同組合 1,273千円 （生鮮水産物流通条件不利性解消事業に係る補助金）				総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,273	1,273	1,018	255	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費									
1,273	1,273	1,018	255	0									
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金交付対象を交付要綱にて定めており、妥当である。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は、事業費の5%以内であり適性な規模であった。										
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○元々受益者負担があり、一部補助であるので、妥当であると考える。										
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。										

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・養殖施設整備後、概ね3年後の販売開始という経過をたどることから、スジアラの商業生産開始までに関係団体との協力体制を構築する必要がある。	スジアラ陸上養殖の技術的サポートを受ける亜熱帯センターと事業体との関係や連携のあり方を含め、事業の円滑な立ち上げを念頭においた事業計画の詳細な検討を行う。
今後の取り組み方針		
スジアラ陸上養殖の事業化調査と基本設計業務の報告を受け、国内も含めた消費地の市場開拓を行うとともに、亜熱帯センター等の関係団体と引き続き陸上養殖という新たな事業創出の可能性を検証していく。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>9,828</td><td>9,828</td><td>7,862</td><td>1,966</td><td>0</td></tr></table> 石垣市 9,828千円 委託料 9,828千円 一般社団法人 漁港漁場漁村総合研究所 9,828千円 スジアラ陸上養殖場事業化調査及び基本設計業務委託					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	9,828	9,828	7,862	1,966	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
9,828	9,828	7,862	1,966	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札により選定しており、妥当であった。 ○業者からの見積もりを参考にしており、仕様書に沿った適正な規模となっている。 ○委託業者による報告の際に、真に必要なものに限定されていることを確認している。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	継続開催を行うためには、財源確保等の課題があり、スポンサー制や合同出資という形態での開催について検討が必要である。	スポンサー制や合同出資という形態での開催に向けて検討する。
今後の取り組み方針		
スポンサー制や合同出資により開催されている産業まつりや、石垣島まつり、食育イベント等とのコラボレーションによる開催などを検討し、本事業の取組を継続する。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）													
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>6,000</td><td>6,000</td><td>4,800</td><td>1,200</td><td>0</td></tr></table> 石垣市 6,000千円 委託料 6,000千円 (株) 博報堂 いしがき食と農のフェスティバル企画・運営 業務 6,000千円				総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,000	6,000	4,800	1,200	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費									
6,000	6,000	4,800	1,200	0									
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○随意契約であるが、業務内容に応じて選定された事業者であり適切である。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。											

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	当初申請時点では、24隻分の衛星電話の設置を計画していたが、申請以降に3隻の漁船所有者が自己負担等の対応が可能となり、27隻に漁船用衛星船舶電話通信機器を設置することができた。	衛星電話が未設置の漁船所有者に対し、補助制度を活用した衛星電話利用者との意見交換等を通じて、安全操業のためには衛星電話が必要であるとの意識改革を図る。
今後の取り組み方針		
新たな漁船用衛星船舶電話通信機器の設置要望に対応できるよう、今後も必要に応じ漁船用衛星船舶電話通信機器設置補助事業を実施し、緊急時の連絡手段等の確保により、漁船の安全操業環境の確保を図る。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>21,700</td><td>17,360</td><td>13,888</td><td>3,472</td><td>4,340</td></tr></table> 石垣市 17,360千円 補助金 17,360千円 八重山漁業協同組合 17,360千円 （漁船用衛星船舶電話通信機器 設置補助事業に係る補助金 27） （組合員負担分（交付 対象外経費）4,340千円）					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	21,700	17,360	13,888	3,472	4,340
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
21,700	17,360	13,888	3,472	4,340										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助先は交付要綱にて定めており、妥当である。 ○見積書により算出しており、適正であると考える。 ○2割を受益者が負担しているので、妥当であると考える。 ○費目・使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	沖縄県の選抜選手に選ばれる児童・生徒が増加傾向にある。	支援対象者のうち選抜選手の占める割合が増加しているため、予算額の積算根拠を見直す。
今後の取り組み方針		
選抜選手が増えることを想定して事業費を積算し、適切な事業執行に努め、市外又は県外で開催される大会等への児童生徒の参加を促進する。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）													
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>42,615</td><td>42,435</td><td>33,948</td><td>8,487</td><td>180</td></tr></table> 石垣市 42,435千円 → 補助金 42,435千円 → 学校・学校教育団体・ 社会教育団体 42,435千円 （交付対象外経費）180千円 派遣に係る費用の補助 【補助金交付先】 市立小中学校、県立学校、スポーツ少年団など 全270件				総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	42,615	42,435	33,948	8,487	180
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費									
42,615	42,435	33,948	8,487	180									
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○学校・団体を通して選手や保護者に補助しており、支出先は妥当であると考える。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○交付金の規模及び使途も適正である。										
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係について、市は渡航費に対して補助し、宿泊費及びその他経費については受益者負担としており、妥当な補助内容であると考える。										
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○旅費等の必要経費のみに充当されている。										

